

桜田中だより

名古屋市立桜田中学校

TEL 8 1 1 - 9 3 0 6

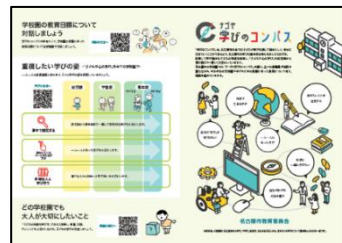
N o . 2 6 月 2 8 日 発行

HPアドレス <http://www.sakurada-j.nagoya-c.ed.jp/>

【学校努力点：自ら考え判断し、ともに未来を切り拓く】

◇ナゴヤ学びのコンパス◇

今年度の桜田中学校は『自ら考え判断し、ともに未来を切り拓く』という学校努力点を中心に据えて、教育活動を推進してまいります。この学校努力点は、名古屋市教育委員会が策定した『ナゴヤ学びのコンパス』や名古屋市が策定した『コンパスぷらん（第4期名古屋市教育振興基本計画）』の理念に則ったものとなっています。



『ナゴヤ学びのコンパス』では、『子ども中心の学び』を実現することを大切にしています（概要版を学校HPにあげておりますので、よろしければご覧ください）。

本校でも、外部講師による生徒への出前授業や、日々の授業を改善するための研修を通して、『子ども中心の学び』を実現するために取り組みを進めていきます。

授業参観や学校行事の折に、保護者アンケートを実施させていただきます。これからも、生徒が安心して学校生活を送ることができるように、些細なことでも構いませんので、お気づきの点がございましたら、学校までお声を聞かせてください

◇子ども中心の学びを引き出すことができる授業◇

名古屋市では新たに名古屋市立学校の教員となった方を対象に、初任者研修という研修を実施しています。名古屋市内に110校ある中学校の国語科教員を代表して、5月29日（水）に2年2組担任の西村光代先生が初任者研修示範授業を行いました。外部から18人の先生方が来校され、西村先生の授業を参観されました。緊張気味の生徒もいましたが、集中して授業に取り組んでいて、疑問に思ったことを質問することができ、自分の考えをしっかりとまとめられる素晴らしい授業でした。また、授業後には、参観者を交えた研究協議会があり、参観者から生徒の頑張りを称賛する発言をいただくとともに、名古屋市教育センターの指導主事から『西村先生の授業に対する工夫で『子ども中心の学び』を引き出すことができている』というお言葉をいただきました。



◇稲武野外学習<4/22-24>◇

今年度は、4月22日（月）から24日（水）で、2年生が稲武野外学習に出掛けました。この日程は、名古屋市で最も早い日程での実施でした。また、昨年度までは1泊2日の野外学習が2年間続いていましたが、今年度から2泊3日での実施が再開されました。



2泊3日の実施となったことで、飯ごう炊さんや室内レク、キャンプファイヤー、民芸教室など、充実した野外学習を過ごすことができました。特に、キャンプファイヤーでは、1年生の頃から赤学年として大切にしている『情熱』が存分に感じられるイベントとなり、子どもたちの思い出に残る行事となりました。今年の2年生は、小学校5年生で中津川野外学習を経験していないため、体力的には大変だったかもしれませんが、学校に到着したときに多くの生徒が見せた充実感に満ちた表情がとても印象的でした。野外学習で身に付けた力を今後の学校生活でも、発揮することを期待しています。



◇体育大会<1年生 6/3 2年生 6/5>◇

今年度は、宿泊行事の日程による関係で、体育大会を学年別開催とさせていただきます。1年生は6月3日（月）に、2年生は6月5日（水）に実施しました。

新しい学年が始まったばかりで、クラスもまだまとまっていない時期ですが、各クラスで工夫を凝らしながら、互いのことを知って作戦を考えたり、声を掛け合って練習に取り組んだりする姿が見られました。

1年生は、開会式後に学年全体で円陣を組み、士気を高める姿が見られました。種目についても、ハンドボール投げや二人三脚走など、単独種目でも成立する種目をリレー方式にする工夫があり、最後まで諦めずに仲間を応援する姿が見られました。

2年生は、開会式の選手宣誓にも個性があふれており、開会式に引き続いて、応援歌が披露されると学年全体で復唱しながら盛り上がる姿が見られました。種目についても、生徒が中心となって種目が立案されていて、運動場いっぱいに広がり走り回る姿が見られました。

1、2年生に共通して行われた『みんなでジャンプ（大縄跳び）』では、これまでの練習の成果が発揮され、クラスの仲間と息を合わせて種目に臨む姿が見られました。仲間同士で回数を数えながら飛び続け、連続回数が増えていくときには自然と大きな歓声が上がり、クラスの一体感が生まれていました。

保護者のみなさまにおかれましても、開会式から閉会式まで多数の方にご参観いただきありがとうございます。



◇SNS安全教室<5/17>◇

5月17日（金）に株式会社KDDIより、田口 実 様を講師としてお招きして、全校生徒を対象としたSNS安全教室を行いました。SNSには、次のような特徴があるという話がありました。

【講師のお話より】

- SNSは、便利で楽しいがゆえに、危険もたくさんついてまわる。
- ネット上で拡散された画像や動画を全て削除することは不可能であり、そういった内容が元で、進学や就職など、将来にわたって影響をもたらすことがある。
- SNSで知り合った人と仲良くなり、顔写真や恥ずかしい写真を送るように要求されても、応じてはいけない。
- SNSで知り合う人は長い時間をかけてダマすので、引き出された個人情報が脅しの材料として使われることもある。

SNSは大変便利なツールである一方で、危険がつきまとうという特徴もあることから、

「投稿することは、相手にどのように伝わるのか、一歩立ち止まって考えることが大切である」

「もしもトラブルにあったら…、一人で悩まずに、おうちの人に少しでも早く相談しましょう」

という話が講師の方からありました。

生徒対象の事後アンケートからは、SNSの危険性に対する理解が進んでいることは分かるものの、『講演会をきっかけにして、メディア利用における家庭内のルールについて、保護者と話をしようと思いましたが?』という項目に、『話をしようとは思わない』『何を話すかわからない』という回答が多く見られました。

これまで個人懇談会や学級懇談会等でも『他のご家庭ではどのようにSNS等利用のルールを決めているのでしょうか?』というご質問や困り感を抱えているという声もいただいております。

そこで、タブレット端末等の活用について、ご家庭でお話いただく機会をつくっていただき、本日配付しました『我が家の約束事』についてのアンケートにお答えいただければ幸いです。SNSを使うことによるトラブルは、学校でも指導する機会が多くなっています。是非、この機会にご家庭での約束事づくりに活用いただければと思います。